



2014～2015年度のRIテーマ
「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)
R.I会長/ゲイリーC.K.ホァン

2014～2015年度 第2740地区スローガン
『地域に輝くロータリー』
ガバナー 宮崎清彰



2014～2015年度
諫早西ロータリークラブ標語



『心の火を燃やそう』

第1415例会 2014年12月3日例会記録 NO.20 天候 晴れ

【本日】会員数 39名 出席 35名 欠席 3名 休会 1名 出席率 92.10% ビジター 3名
【前々回】会員数 39名 出席 35名 欠席 4名 MC 6名 出席率 89.47%

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

会長/辻本善樹 幹事/木村暢義 創立日/昭和60年2月20日 認証日/昭和60年3月5日
例会場/平安閣 諫早サンプリエール(毎週水曜日) 〒854-0053 諫早市小川町71-1 TEL(0957)24-3907
事務局/諫早商工会議所内 〒854-0016 諫早市高城町5番10号 TEL(0957)22-3323
会報委員/山本健志・中村正美・宇土久・千住良治・原田典範

HP/http://isahaya-west.com E-mail/info@isahaya-west.com

会長の時間

「善意と戦略の経営者：大原孫三郎」第1回

城山三郎の「わしの眼は十年先が見える 大原孫三郎の生涯」を読んだ方も多いと思うが、大原孫三郎は私の尊敬する経営者の一人です。彼については、大原美術館を設立し、いろんな社会事業にお金を使った慈善家として有名ですが、実は積極的な経営者でもあったのです。

大原孫三郎は、明治13年(1880年)に岡山県倉敷市の大地主で倉敷紡績(現クラボウ)を営む大原孝四郎の三男として生まれた。しかし、上の兄が亡くなり唯一の男の子となったために、甘やかされて育てられ、癩癩持ちで気性の激しい子供だったようだ。東京専門学校(後の早稲田大学)に入学するも講義にはほとんど出席しないで、悪友に誘われて花柳界へ足を踏み入れるようになり、高利貸しに借金をして、その額は15000円(現在の1億以上)にもなったようだ。そのために倉敷に連れ戻され、謹慎の身となった。

父の孝四郎は「満は損を招き、謙は益を招く」という謙受説をモットーにしており、倉敷紡績の社章として「二三のマーク」(漢数字の二の字の下に三角形をなす点、三つからなる)を考案した。これは、「とかく人間は一番だと思つと慢心し、心が弛緩して退歩するものであるから、いつも一番に迫ろうとする希望に満ちた二、三番の謙虚な気持ちで不断的の努力を続けるべきである」という意味が込められている。その後、孫三郎が創設した倉敷絹織(現クラレ)の社章「二三印」にも同様な意味が込められている。

明治39年(1906年)、倉敷紡績の社員寮内で腸チフスが流行し、社員数名が死亡し、その責任を取る形で父孝四郎は辞任し、孫三郎は社長となった。就任と同時に工員の労働環境改善を図り、従来の飯場制度を廃止し、従業員の確保、食事の手当、日用品の販売等を会社が運営するよう改め、工員の住宅も集団寄宿舍から今日の社宅に近い状態に改めて、工員の社宅通勤主義を実行した。

孫三郎は、有能な経営者であつて、積極的経営策は、どれも功を奏し、後の発展につながっていった。父孝四郎が設立した倉敷銀行を岡山県の中小銀行を合併していき、中国銀行の頭取にまでなった。

紡績業では蒸気機関から電気への転換が起こっていて、孫三郎は自ら電力会社を設立して経営し、小規模の電力会社の乱立を回避するための合同・合併を推し進め、現在の中国電力の形成に一役を買ったのである。このように、産業振興に必須の両輪であると考えた金融と電力事業の基礎づくりに大きな役割を果たしたのである。

紡績産業は、第一次大戦後の世界恐慌で不況の影響を受けていた。その打開策としてこれから発展しそうな人絹(人造絹糸、レーヨン)事業を始めようとした。しかし、倉敷紡績の重役が難色を示した。それに対して「仕事を始める時には、十人のうち二、三人が賛成する時に始めなければいけない。一人も賛成がないというのは早すぎるが、十人のうち五人も賛成するような時には、着手しても手遅れだ、七人も八人も賛成するようならば、もうやらない方がよい」と息子の總一郎に語り、孫三郎は先見

の明と勇気を持っていた。しかし、同時に、他人の意見に耳を貸す姿勢と正確な状況判断も兼ね備えていた。

幹事報告

【例会変更】

※なし

【お知らせ】

※なし

◆来賓挨拶

- ・千葉憲哉諫早北RC会長
地区大会協力へのお礼



- ・栗林英雄パストガバナー(ウェスレヤン大学理事長)
国際交流事業『市民と留学生とのつどい』へのお礼



委員会報告・その他

●誕生&結婚記念祝い

<12月誕生会員>

平野 義信 君	S 26年12月7日
千住 良治 君	S 47年12月16日
馬渡 信也 君	S 28年12月18日
早田 和彦 君	S 15年12月30日



< 12月結婚記念会員 >

山崎 祥弘 君 S 42年 12月 5日



●ウエスト会 (森幹事)

辻本会長年度第3回ウエスト会忘年ゴルフ大会のご案内

【ゴルフ大会】

期 日：平成 26年 12月 9日 (火)

コース：チサンカントリークラブ森山

時 間：1組目 12:00 (食事後スタート)

費 用：ビジター 7,100円(食事込)、メンバー 4,530円 (食事込)

【忘年会】

場 所：大潮 (飯盛町 Tel 0957-48-1540)

時 間：18:30 開宴(バス:平安閣駐車場 18:00出発)

費 用：ウエスト会会員4,000円、会員以外5,000円



千葉憲哉君 (諫早北ロータリー)：地区大会で大変御世話に成りました。

辻本 善樹君：栗林パストガバナー、千葉会長および石本幹事の御来訪ありがとうございます。また、家庭集會に参加のみなさまありがとうございました。

木村 暢義君：栗林大々先生、この前は大きなスマイル有りがありがとうございます。又、千葉会長、石本幹事、いらっしゃいませ。あと半年ガンバって行きましょう。

山崎 祥弘君：結婚記念、もうすぐ50回になります。いつまでもよろしくお願ひします。

早田 和彦君：12月30日が誕生日です。栗林先輩に負けないよう、若さづくりに努力します。

平野 義信君：年令と共に身体に変化。皆さん身体をいたわって下さい。

佐藤 幸雄君：2週連続休会して申し訳ありませんでした。又、今日は不幸のため早退します。

塚原 浩三君：諫早北ロータリーの先輩方の来訪を歓迎いたします。これからも西ロータリーの事、よろしくお願ひします。

松井 純治君：所用で早退します。

本日の合計(12/3)	累 計 額
¥ 34,000	¥ 716,540

クラブフォーラム

第2回家庭集会発表

テーマ ①クラブ創立 30周年事業を成功させるには？
②その他

◎リーダー ○セクレタリー

<A班>

日時：12月2日(火)

場所：平安閣

出席者：総務委員会の平、池松、日高、福田、草野、馬渡、会計の松藤、辻本会長 計8名で行いました。

総務の役割について

日高：来賓への案内状、御礼状

案内状は中旬までに発送し、年内に出欠の返事をもらう。

30周年の会員の記念品、来賓への手土産
式典プログラムの手配

池松：表彰状(皆勤)、感謝状(ダービー、ミニバスケット)、その記念品の手配

アシスタントの女性を平安閣に依頼

草野：看板、会場入口、式典会場横看板、駐車場、講演者たれ幕、来賓の下げ札の手配

馬渡・平 万国旗の手配

参加人員

来賓及び招待者

佐古、栗林、高城 P.G

宮崎ガバナー、森地区幹事

宮本市長 6名

第7、第8グループ会長、幹事 10クラブ 20名

ガバナー補佐 2名

ミニバスケット協会 会長、事務局長 2名

ダービースクール 校長夫妻、通訳 3名

天草中央RC 15名

多良見RC 登録依頼 8名

伊万里西RC、佐賀大和RC 4名

当クラブパスト会長 9名

名誉会員 安永夫妻 2名

会員夫人 36名

会員 38名

合計 139名

これに基づき祝宴委員会では

実参加 120名 バイキング料理ですので、7.5掛 90名分の料理を用意するという事になっています。

<B班>

日時：平成 26年 11月 28日 午後 6時 30分

場所：平安閣

出席者：◎小野、○久保、立野、清水、塚原、吉野、永井、御厨

テーマ 30周年を成功させるために

班長より記念式典プログラム(案)が示され、それにそって意見を聞きました。

- ①司会担当から司会アシスタントを付けてほしいとの要望。司会進行中における事業説明など内容の豊かなものにしたい。女性の声のほうが柔らかくて華がある。なお司会原稿を作成し式典の進行や来賓者の氏名など間違いの無いよう万全を期したい。
- ②ダービースクールの正式名称の確認が必要。招待状は外国は夫婦が基本なので校長夫妻に出すべきではないか。
- ③ミニバスケット連盟への感謝状に関して会長・理事長への取り扱いを注意する。例えば演台に二人あげて会長に感謝状、理事長に記念品をわたすなど工夫が必要。
- ④姉妹クラブの調印式や調印状の交換などの式典では省略するのか。
- ⑤出席優良会員の表彰や記念品について再度検討。
- ⑥記念講演者の氏名・演題の早めの確認。
- ⑦講演後会長夫人などにより講演者に花束贈呈した方が華があるのでは。

<C班>

出席者：◎吉田健 ○江嶋、吉次、森、野中、山口、毎熊 合計7名

クラブ創立30周年事業を成功させるには？

最初に、吉次実行委員長より30周年事業のこれまでの進捗状況を報告していただきました。

- ①式次第の中でソングリーダーが日高会員とありますが、ロータリーソングの後、会長エレクトの開式の言葉と続きますので、別の方へ変更した方がいいのではないのでしょうか？
- ②ご婦人がたの役割を明確にするため、会員より担当責任者を設ける。
- ③来賓者お見送りでは、会員全員で整列し握手でもってお見送りしたい。これこそ西ロータリーの「おもてなしの心」でしょう。
- ④懇親会のアトラクションの目玉として、マグロの解体ショーを取り入れてのおもてなしをしてみてもどうか？また解体後の兜はオークションで競り合っても楽しいひと時を演出できそうです。・・・新鮮なマグロのお刺身、寿司で食欲をそそられると思います。
- ⑤西クラブの会員が各クラブのお客様とふれ合ってください。
また名刺交換など積極的に行いましょう。

<D班>

日時：平成26年11月26日 18:30～20:30

場所：平安閣

出席者：◎荒木 ○平野、早田、池田、松井

- 参加婦人には統一スカーフを用意し掛けてもらって、終了後スカーフは参加記念に持ちかえって頂きます。
- 来賓の方々への対応
受付けがすまれた方をロビーより2階の控え室にご案内する。
- ご婦人方により2階において、お茶、コーヒー等を接待する。

- リボン付けは女性に願います。
- ロビーと2階の役割分担を行う。
- 当日にご婦人に如何に参加してもらうかがカギである。
- 駐車場の準備は前日に行って（看板、ライン引き）当日は全員で30周年を祝う。
- ※家庭集会に参加された皆さんが記念事業の大成功をとの気持ちがひしひしと感じられました。

<E班>

日時：2014年11月25日（火） 18:30～

場所：長崎闇市（諫早市栄町）

◎山本 ○原田、山崎、木村、川野、宮本、佐藤（MC）

テーマ① クラブ創立30周年事業を成功させるには？

- 他クラブの周年事業や地区大会を参考に、来賓及び参加者に良い印象を持たれるよう、各担当者はプロ意識を持って笑顔で接客するよう心掛ける。
- 余裕のあるスケジュールと、明確な報告・連絡体制を確立して、不測の事態が生じた場合は速やかに善後策を実行できるようにしておく。
- 全員参加の意識を高めるため、全会員に仕事を割り当てる。又、忙しい部署があれば、部署に関わりなく進んで手伝いをする。
- 同じく参加意識を高めるため、実行委員会からの報告だけではなく、全体集会を開いて広く意見を集める場を設けてほしい。

テーマ② その他

- 今回のミニバスケットは第10回大会であり、諫早西RCの30周年事業の一環とも考えられるので、エキシビジョンマッチの充実などを考えてほしい。
- 例会場での喫煙について、もう少し禁煙者に配慮してほしいと感じる場合があるので、喫煙者はそのことに留意して喫ってほしい。

